



2022年2月期 第3四半期 決算説明資料

株式会社エルテス（証券コード 3967）
2022年1月13日

デジタルリスクと戦い続ける

インターネットをはじめとしたデジタル化は私たちの社会に大きな恩恵をもたらすと同時にこれまでにはなかった新たなリスク＝デジタルリスクも生み出しました。

企業や個人を脅かすデジタルリスクは日々、高度化し続けており、従来型のリスクマネジメントでは決して追いつくことができません。常に先を見据え、最先端のテクノロジーを駆使したイノベーションを生み出し続けることこそデジタルリスクと戦い続けるための唯一の手段です。

私たちエルテスはデジタルリスクの無い豊かな社会に向けて新しいテクノロジーとともに常に進化し、デジタル社会にとってなくてはならない存在を目指します。



エルテスが展開する3つの事業

1

デジタルリスク事業

企業・スマートシティの
デジタルリスクの検知

AIや24時間監視によるSNS炎上リスク
の防止・対応、内部不正や情報漏えい
などの内部脅威検知サービス



2

AIセキュリティ事業

デジタル社会の
デジタルポリス

リアルとデジタルを融合した次世代
の総合的デジタル警備サービス



3

DX推進事業

スマートシティ
デジタルカンパニー
の構築支援

行政・地方自治体・企業などを顧客
としたDX推進の支援サービス



エルテスが狙う市場

既存ノウハウを活用してエリアトップを
狙うデジタルリスク・DX領域

デジタル活用によりシェア獲得を
狙うレガシー領域

DX推進関連
8,000億円※4

情報銀行・デジタルガバメント
2,400億円※2※3

デジタル統合リスク管理
1,700億円※1

SNS炎上対策
～1,000億円

警備業界
3.5兆円※5

エルテスソーシャル
リスク対策サービス

エルテス内部
危機管理対策
サービス

エルテスDX
推進サービス

エルテス
AIセキュリティサービス

社会のデジタル化に合わせ、3つの事業による強烈なシナジーを目指す

社会の変化

対応する事業

リスクがアナログからデジタルへと転換

デジタルリスク事業

デジタルを活用した先進的な
リアル警備のニーズが拡大

AIセキュリティ事業

地方におけるスマートシティ化が加速

DX推進事業



1

全体サマリー

2

決算概要

3

事業別状況

4

APPENDIX



1 全体サマリー



第3四半期 全体サマリー

第3四半期連結会計期間においては、

売上高 **640百万円** **(前年同期比+53%)**

営業利益 **24百万円** **(前年同期比+113百万円)**

と堅調に推移。

また、上場した出資先の株式売却による特別利益の計上により、

四半期純利益は80百万円 (前年同期比+167百万円)

と前年を大きく上回った。

主力の**デジタルリスク事業は、堅調に推移**。例年、売上が増加する第4四半期に大幅な積上げを目指す。

AIセキュリティ事業およびDX推進事業は、先行投資で赤字が継続するが、第4四半期の
大規模案件受注によるリカバリーを目指して取り組んでいく。

新型コロナ禍による影響の継続、2つの新規事業の垂直立上げなどもあり、業績面でのビハインドはあるが、概ね中期経営計画 ” The Road To 2024 ” の通りに進捗。計画達成に向けて、案件を積上げ中。

デジタルリスク事業は、引き続きSNSやネット上のリスク関連が堅調であることに加えて新政権による「**経済安全保障**」のトレンドを追い風に、**内部脅威検知サービスに関する大型案件が進捗**。先駆的な立ち位置を活かし順調に成長している。

AIセキュリティ事業は、And Security社（旧アサヒ安全業務社）との統合が順調に完了。また、**警備マッチングシステムのAIK orderは加盟社数が順調に増加**しており引き続き、日本最大級の警備ネットワーク、警備DX企業を目指す。

DX推進事業は、スーパーシティ構想の調整によって自治体へのDX売上計上が遅延するも岩手県紫波町における**先行モデルの具現化が進む**。

自治体連携は継続し、**デジタル田園都市国家構想の文脈に併せ**、来期以降に契約が拡大予定。

第3四半期 全体サマリー

	3Q会計期間		3Q累計期間		業績予想
	実績	前年同期比	実績	前年同期比	
(単位；百万円)					
売上	640	+ 53%	1,899	+ 44%	3,000
営業利益	24	+ 113	▲37	+ 199	100
EBITDA	170	+ 251	168	+405	140
純利益	80	+ 167	52	+ 329	40

2 決算概要



2022年2月期 第3四半期 決算サマリー (3Q累計・連結)

連結

※連結調整後

売上高 **1,899**百万円 (前年同期比 +44%)
 営業利益 **▲37**百万円 (前年同期比 +199百万円)
 純利益 **52**百万円 (前年同期比 +329百万円)

- ・売上、営業利益については堅調に推移するも、累計での黒字化達成には至らず。第4四半期でのリカバリーを必達する。
- ・上場した出資先の株式売却による特別利益の計上により純利益は52百万円と大幅改善

デジタル リスク事業

売上高 **1,362**百万円 (前年同期比 +8%)
 営業利益 **451**百万円 (前年同期比 +120%)

- ・前年同期比では順調に推移。例年第4四半期に売上偏重するため、第4四半期でのさらなる売上の増加を図る

AIセキュリ ティ事業

売上高 **532**百万円 (前年同期比 +1,250%)
 営業利益 **▲31**百万円 (前年同期比 ▲10百万円)

- ・And Security(旧アサヒ安全業務社)の売上・利益は堅調に推移
- ・デジタルプロダクト開発および人材採用等はいまだ投資フェーズ

DX推進 事業

売上高 **7**百万円 (前年同期比 ▲66%)
 営業利益 **▲57**百万円 (前年同期比 ▲13百万円)

- ・自治体、大手企業等との取組みを推進。大型受注により、早期の売上貢献を目指す。

調整

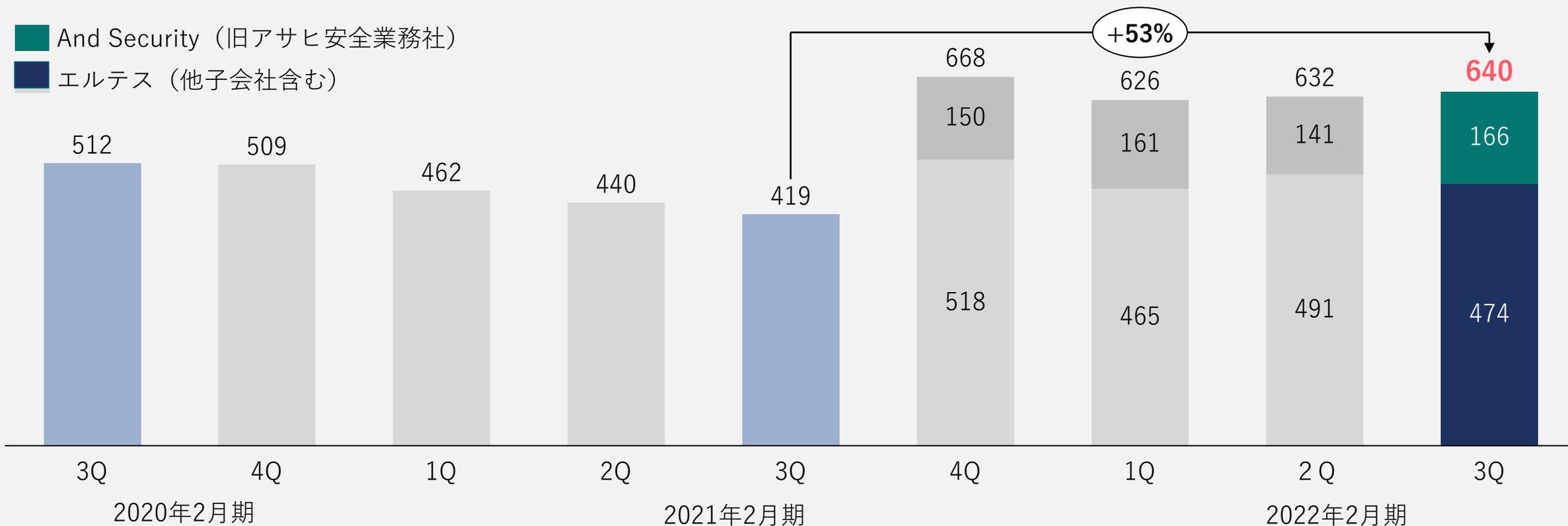
全社調整 **▲401**百万円(前年同期比▲22百万円)

- ・オフィス縮小等によるコスト見直し効果が継続。

連結決算概況 売上高

- 新型コロナウイルス禍による影響を受けていた**既存事業については、継続的に堅調に推移**
- 3Q連結会計期間としては、過去最高**

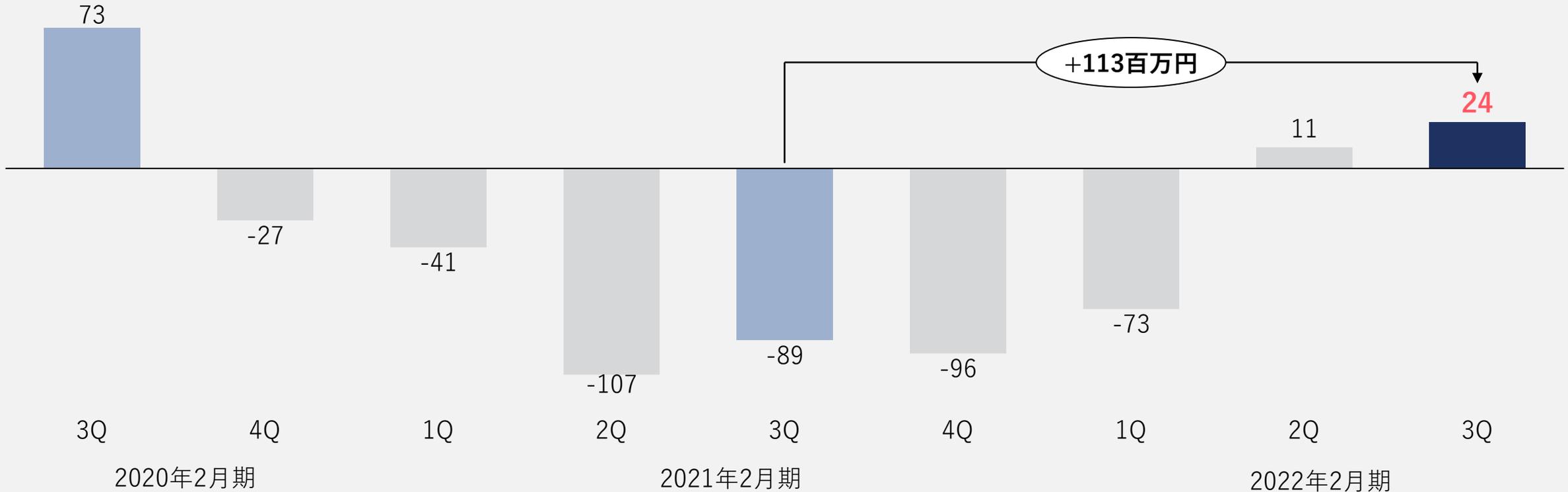
連結売上高の推移



連結決算概況 営業利益

- デジタルリスク事業の利益改善の取り組みの継続によって、AIセキュリティ事業、DX推進事業における先行投資があるも、四半期連結会計期間では**黒字を継続**

連結営業利益の推移



連結決算概況 通期業績予想に対する進捗

- ・ 売上高、営業利益については、当初想定よりもビハインド傾向。四半期純利益、EBITDAは達成。
- ・ 第4四半期では、売上、営業利益についても、大型受注などにより達成を目指す。

2022年2月期 第3四半期 売上高予想と進捗

第3四半期累計 1,899百万円	第4四半期予想 1,101百万円	通期業績予想 3,000百万円 進捗率 63%
-----------------------------------	-----------------------------------	-------------------------------

2022年2月期 第3四半期 営業利益予想と進捗

第3四半期累計 ▲37百万円	第4四半期予想 137百万円	通期業績予想 100百万円 進捗率 ▲137百万円
---------------------------------	---------------------------------	---------------------------------

2022年2月期 第3四半期 四半期純利益予想と進捗

通期予想 40百万円	第3四半期累計 52百万円	通期業績予想 40百万円 進捗率 130%
-----------------------------	--------------------------------	-----------------------------

2022年2月期 第3四半期 EBITDA予想と進捗

通期予想 140百万円	第3四半期累計 168百万円	中期計画目標値 140百万円 進捗率 120%
------------------------------	---------------------------------	-------------------------------

連結損益計算書（3Q累計）

- ・ 前年同期比では、粗利の増加に比較して、販管費の上昇を抑えられており、KGIはいずれも**大きく良化**
- ・ 四半期純利益は、上場した出資先の株式売却による特別利益計上により大幅増加

(単位：百万円)	2021年2月期 3Q累計実績	2022年2月期 3Q累計実績	前年同期比
売上高	1,321	1,899	+44%
売上総利益	660	955	+45%
販売管理費及び一般管理費	897	992	+11%
EBITDA※	▲237	168	+405
営業利益	▲237	▲37	+199
経常利益	▲246	▲17	+229
親会社株主に帰属する 四半期純利益	▲276	52	+329

※EBITDA = 税引前当期純利益 + 支払利息 + 各種減価償却費 + のれん償却費

連結貸借対照表

- 上場した出資先の株式売却による特別利益の計上等により、純資産は増加

(単位：百万円)	2021年2月期 期末	2022年2月期 3Q末	増減
流動資産	1,546	1,616	+ 69
固定資産	886	747	▲138
繰延資産	0.3	0.1	▲0.1
資産合計	2,433	2,364	▲68
流動負債	465	393	▲71
固定負債	693	643	▲50
純資産	1,274	1,327	+ 53
負債純資産合計	2,433	2,364	▲68

3 事業別状況

デジタルリスク事業

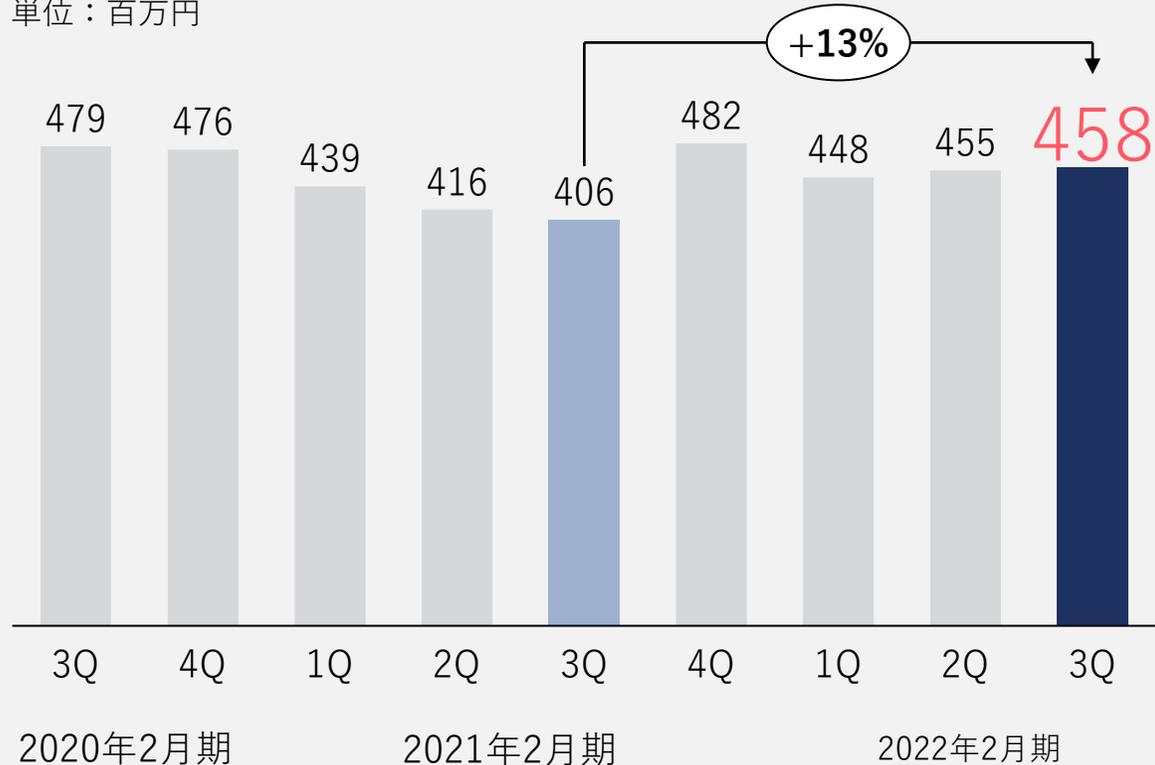


デジタルリスク事業 売上高/営業利益

- 売上高は、**前年同期比+13%**と改善。営業利益は、高収益プロダクトの販売強化、内製化によるコスト見直し効果等も貢献し、**前年同期比+246%**と大幅に向上。

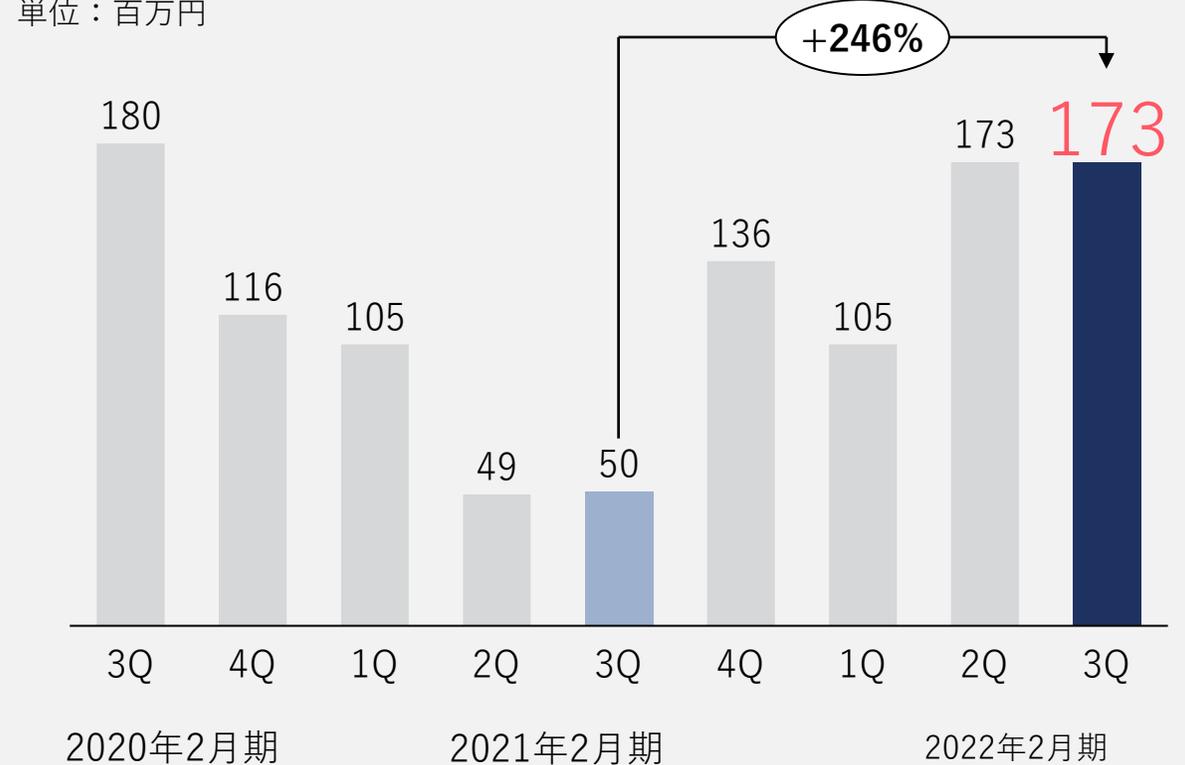
売上高の推移

単位：百万円



営業利益の推移

単位：百万円



TOPIC
1

- 売上高は、堅調に推移。営業利益については、利益重視の戦略に切り替えたため、**前年同期比約3.5倍の利益水準**まで向上。

TOPIC
2

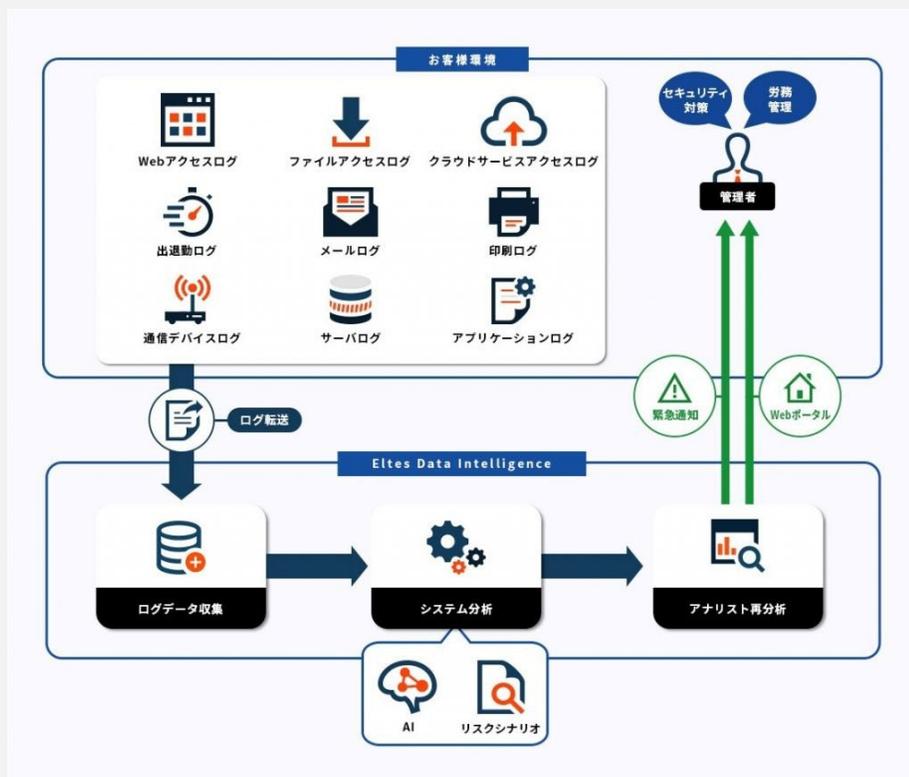
- 日本政府による**経済安全保障戦略を踏まえ、コーポレートガバナンスの適正化に資する内部脅威検知サービス**を提供し、大きな反響を獲得

TOPIC
3

- アサヒ・ドリーム・クリエイイト社と**飲食業界活性化のためのプロジェクト協定**を締結し、SNS投稿監視サービスのモニタリオンを提供

経済安全保障の観点からの企業向けサービスパッケージ

- 今後、世界的な社会課題となる**経済安全保障の観点から、企業の機密情報を監視・防衛**するサービスパッケージを展開



◆ サービス概要

1) アセスメント

経済安全保障の観点から重視すべき情報流出の可能性に関し、各企業の実態に即し評価。警戒すべき流出計路を洗い出す。

2) データ取得に関する設計

内部脅威を検知するログ解析のためのデータ取得に関する設計を行う。

3) 脅威検知システムによる監視を実行

Internal Risk Intelligenceによってログを解析し組織内部の不正行為を検知する。

◆ ターゲット層

大企業

これまで延べ19万ユーザー、160億件のログを分析してきた実績をもとに
大手企業への導入を推進中と、初動は好調。

売上が集中する第4四半期に向けて、営業体制、サービス提供体制を整備し、大手企業から中小企業まで**全方位へ売上の積み上げ**を目指す

- ✓ 既存の炎上リスク対策、内部脅威感知サービスについて、大手企業への導入を推進
- ✓ ECのなりすまし被害等、複雑化するリスクへの対応を推進
- ✓ マーケティング支援など新たな領域でのサービス提供の取組みも開始
- ✓ セキュリティ強化が必要な新たな領域（IoT、メタバース、エネルギー領域など）に対するサービス提案も加速化

* 上記の取組みについては、詳細が決定次第、プレスリリース等にてご報告いたします。

3 事業別状況

AIセキュリティ事業

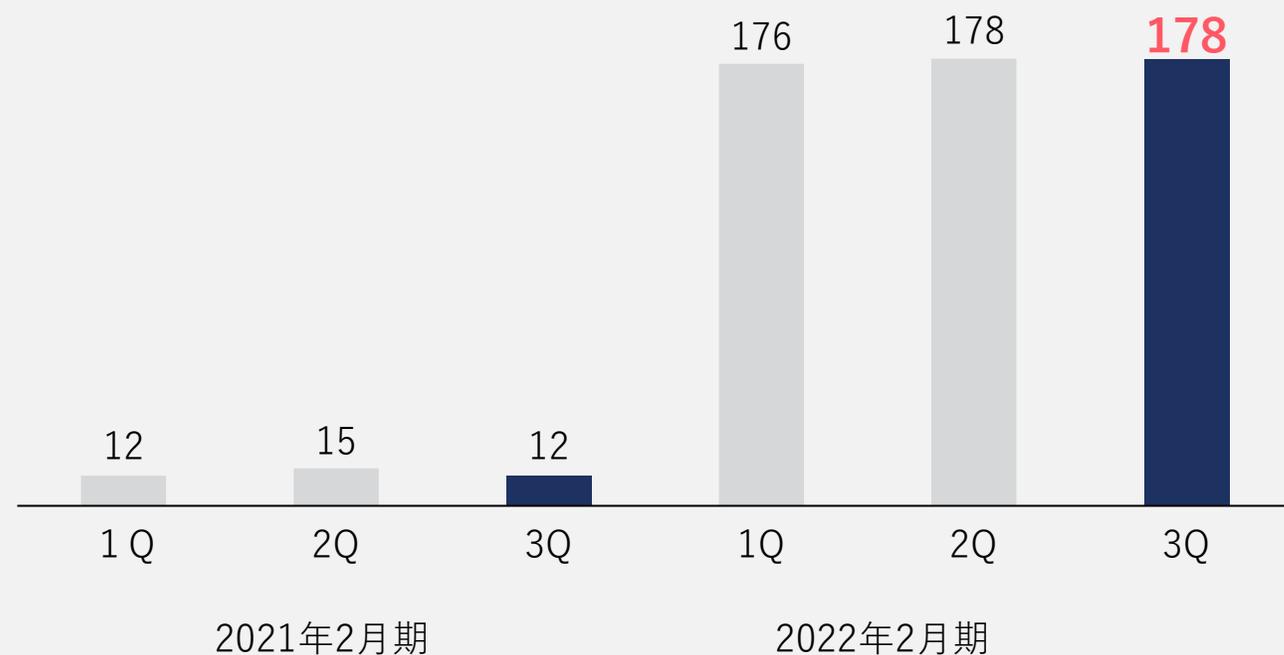


AIセキュリティ事業 売上高/営業利益

- And Security（旧アサヒ安全業務社）の業績は、新型コロナ禍による影響の低下により順調に推移。
- エルテス・AIK（旧ESI）は、引き続き、デジタルプロダクトへの先行投資を実施。

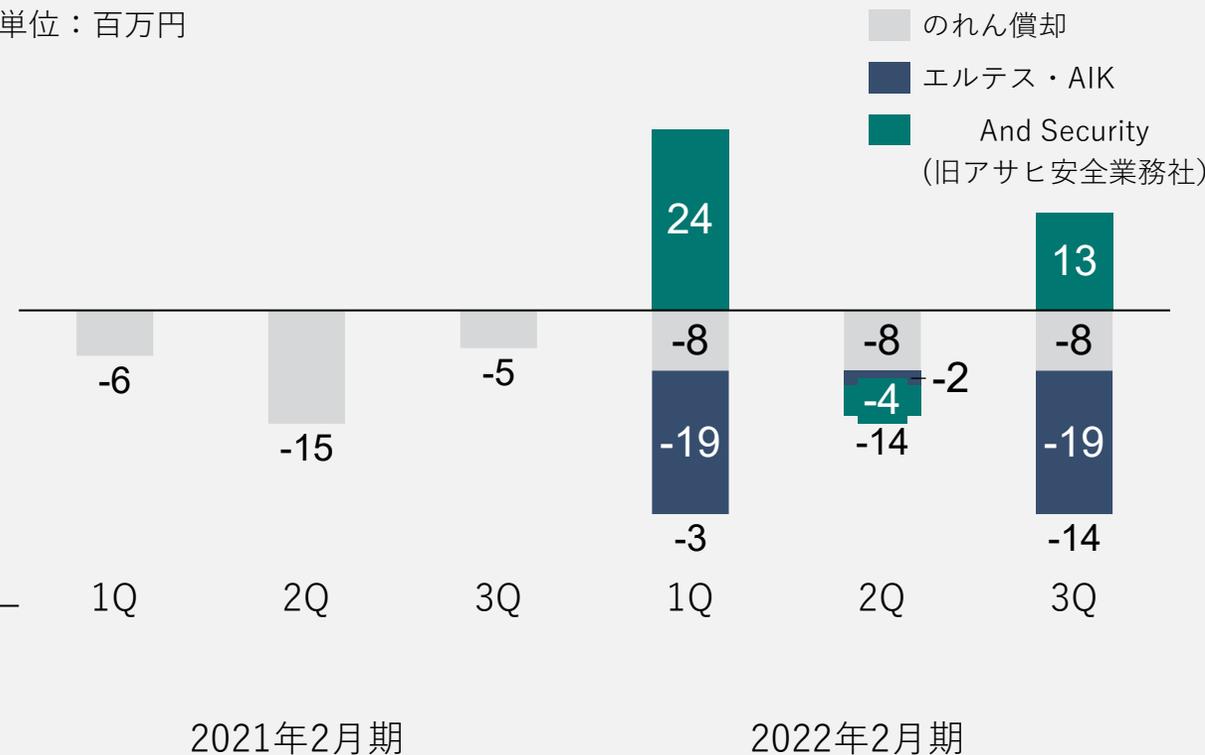
売上高の推移

単位：百万円



営業利益の推移

単位：百万円



TOPIC
1

- 新型コロナ禍による影響の低下により、順調に推移
- 警備業界向けデジタルプロダクトは、引き続き、開発およびマーケティングへの先行投資を実施

TOPIC
2

- 警備会社向けに、「警備業界のDXに向けて。今、現場で何が起きているのか」と題するウェビナーを開催

TOPIC
3

- And Security（旧アサヒ安全業務社）が神奈川県警備業協同組合功労者表彰を受賞

警備業界向け新規デジタルプロダクトのマーケティングを強化

- ✓ 「AIK order」 、 「AIK sense」 などの販売を強化
- ✓ 警備業界からのニーズを吸い上げ、「AIK シリーズ」の新サービスの開発も継続実施

* 上記の取組みについては、詳細が決定次第、プレスリリース等にてご報告いたします。

AIセキュリティ事業 警備業界向けデジタルプロダクトのリリース状況

警備員配置

警備実務

警備事務

AIK order

AIK sense

AIK prepaid

個人でも会社でも
警備の依頼を
もっと手軽に



契約社数が順調に増加



ARナビゲーション



3 事業別状況

DX推進事業

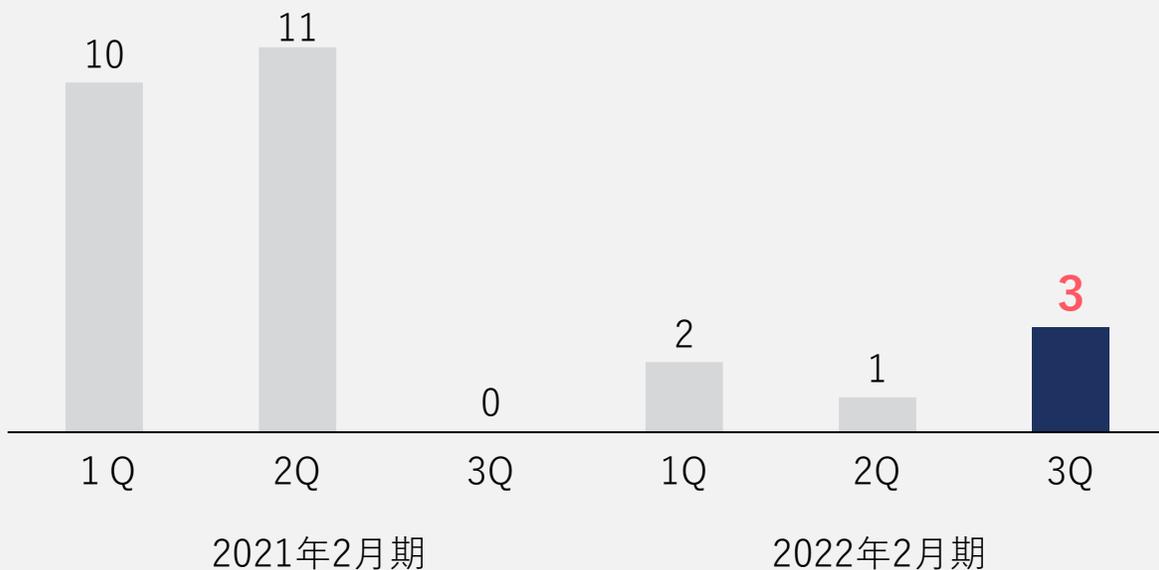


DX推進事業 売上高/営業利益

- 引き続き、人材採用投資、プロダクト開発の先行投資によりセグメント利益は赤字。
- 自治体・企業との取組み進捗状況は想定を上回っており、早期の利益貢献を見込む。**

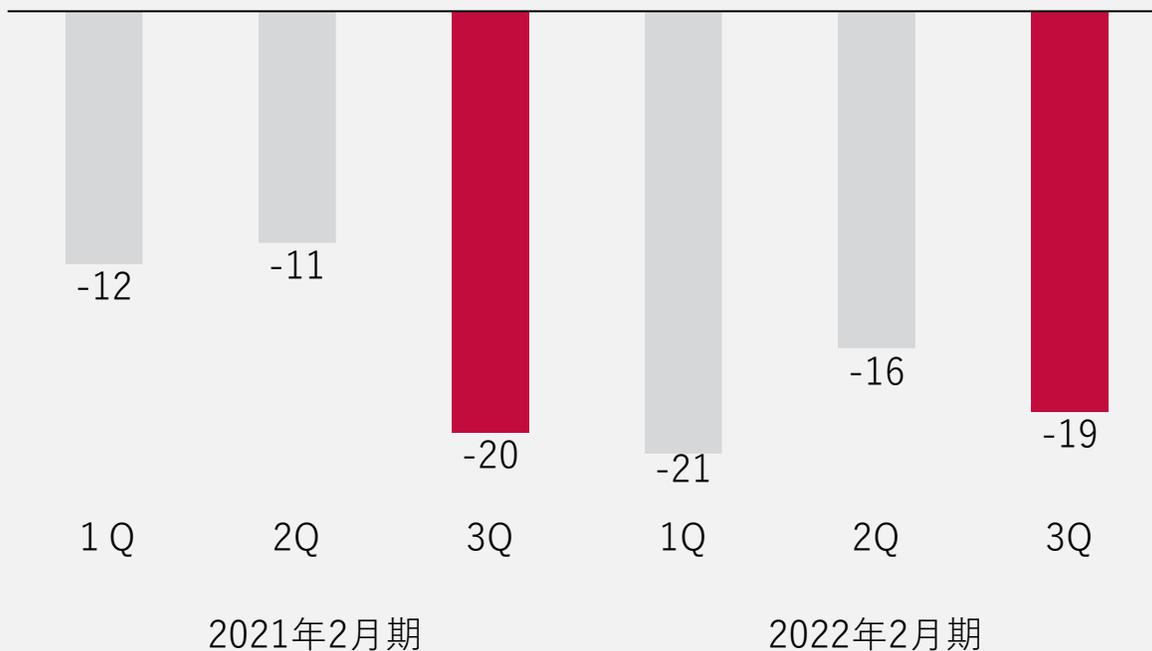
売上高の推移

単位：百万円



営業利益の推移

単位：百万円



TOPIC
1

- 紫波町との連携プロジェクトにおいて、住民総合ポータルアプリ「しわなび」、お散歩アプリ「よりみちしわ」をリリース

TOPIC
2

- 岩手県紫波町、PCデポと 地域デジタル化推進に関する包括連携協定を締結
地域のデジタル活用を支援する「デジタル相談車両」を運用開始。

TOPIC
3

- LSIと、岩手県紫波町で展開する住民総合ポータルアプリ「しわなび」と
地域密着型ポイントカードをデジタル連携

PCデポと岩手県紫波町にて「デジタル相談車両」を2022年1月より運用開始



移動デジタル相談車両

- ・オガールにて日常運営
(週2日程予定)
- ・紫波町内地域への循環出張
(月2日程予定)

- ・『しわなび』利用支援
- ・パソコン、スマホ無料点検
- ・行政アプリ利用支援
- ・定期講習会、ワークショップ開催

※PCデポの無料会員登録により利用可能

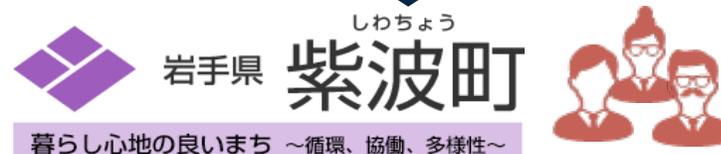


紫波町総合ポータル アプリ「しわなび」

- ・行政手続きのポータルアプリで
ある「しわなび」を通じデジタル相談
の案内、無料会員登録等を行う。



- お散歩アプリ
- MaaS
- 災害情報提供
- 空き家対策支援
- 無料デジタル相談
デジタル会員証



引き続き自治体、行政や企業との取組みを加速し、**早期の利益貢献**を目指す。
新たな領域へのDXサービスの取組みにもチャレンジ予定。

- ✓ 引き続き、スーパーシティ構想や自治体・行政向けのサービス提供開拓を実施
- ✓ スーパーシティ構想を見据えた新規サービス・プロダクトなどの取組みも強化
- ✓ 企業向けについては、旺盛な引合いに対し具体的な案件化を行うことで売上貢献に取り組む

* 上記の取組みについては、詳細が決定次第、プレスリリース等にてご報告いたします。

4 APPENDIX



会社名 株式会社エルテス

代表者 代表取締役 菅原 貴弘

所在地

東京都千代田区霞が関3-2-5 霞が関ビルディング 6階

本店所在地 岩手県紫波郡紫波町紫波中央駅前2-3-12オガールベース東棟

資本金

814百万円（2021年5月末時点）

従業員数

238名（2021年8月末時点・連結）

事業内容

**デジタルリスク
事業**

(株)エルテス、(株)エフエーアイ

- ・ リスクモニタリング：24時間365日体制でモニタリングし、リスクを早期検知
- ・ リスクコンサルティング：Webレピュテーションコンサルティング
- ・ 内部脅威検知：企業PCログ等の解析によって、情報漏洩や労務リスクを検知

**AIセキュリティ
事業**

(株)AIK、(株)And Security

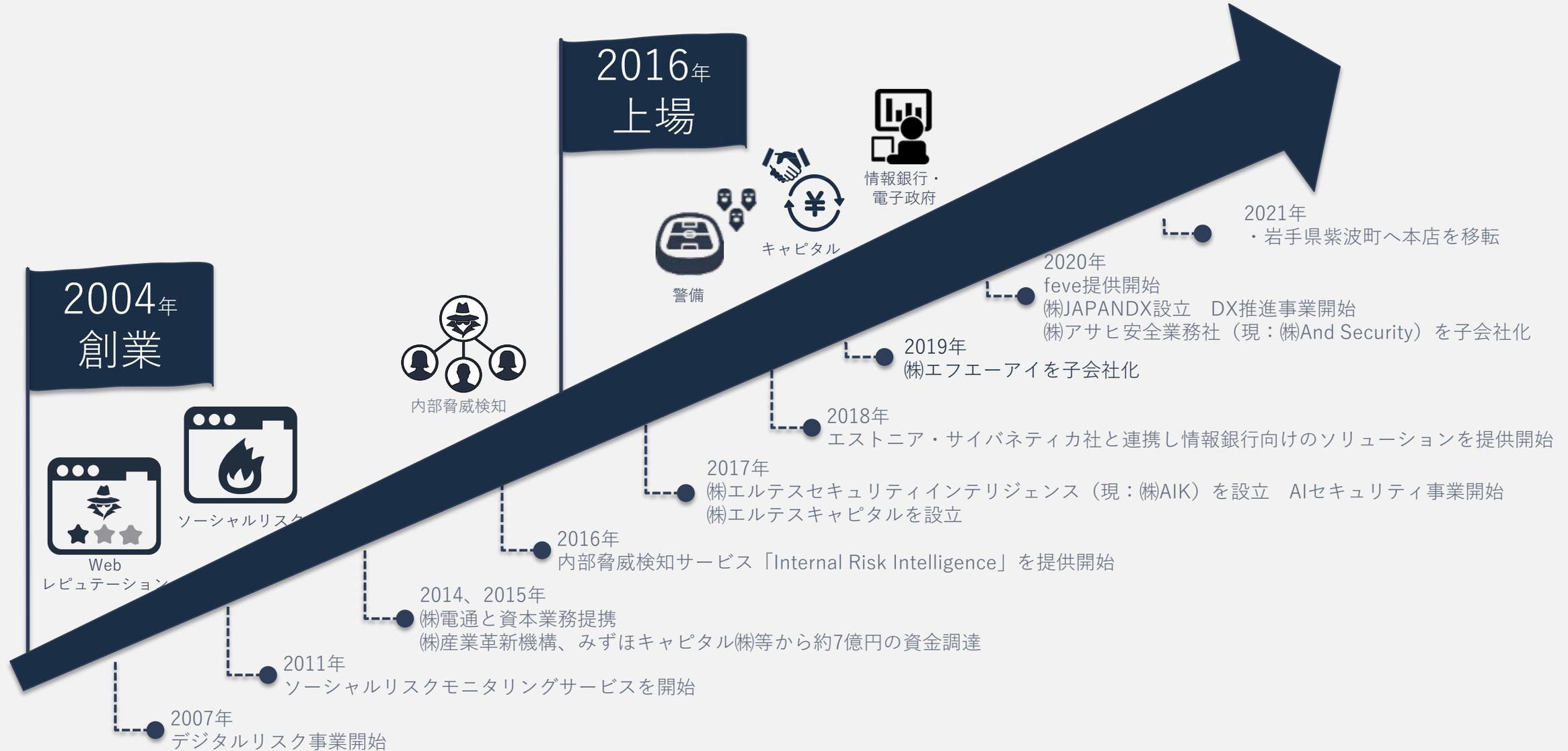
警備事業とデータインテリジェンスを用いた警備のDX化

DX推進事業

(株)エルテス、(株)JAPANDX

エストニアのCYBERNETICA社と連携したデータ連携プラットフォーム構築等

エルテスについて | エルテスグループ沿革



中期計画 ” The Road To 2024 ”

3年×3期の9年の中長期計画で、加速度的な成長サイクルの実現を目指す。
本計画の期間では「変革と基盤構築」をキーワードとする

1期

(2022.2期～2024.2期)

「変革と基盤構築」

既存デジタルリスク事業においては、
新プロダクトの開発とアライアンスの強化により、
圧倒的なNo.1企業となる

さらに、既存の収益基盤に依存せず、
新たな領域にも積極的に進出し、
一定のポジションを築く

事業拡大により縮小均衡ではなく
非連続なトップラインの伸長を目指す

2期

(2025.2期～2027.2期)

「加速度的な成長サイクルの実現」

1期で構築した収益基盤を一気に成長させるフェーズ

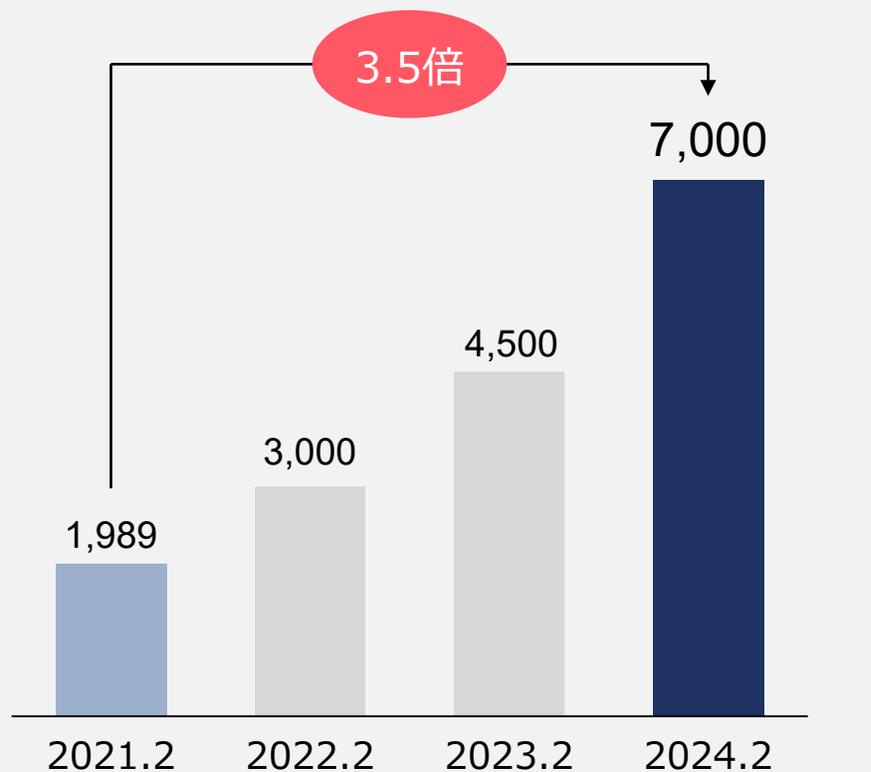
3期

(2028.2期～2030.2期)

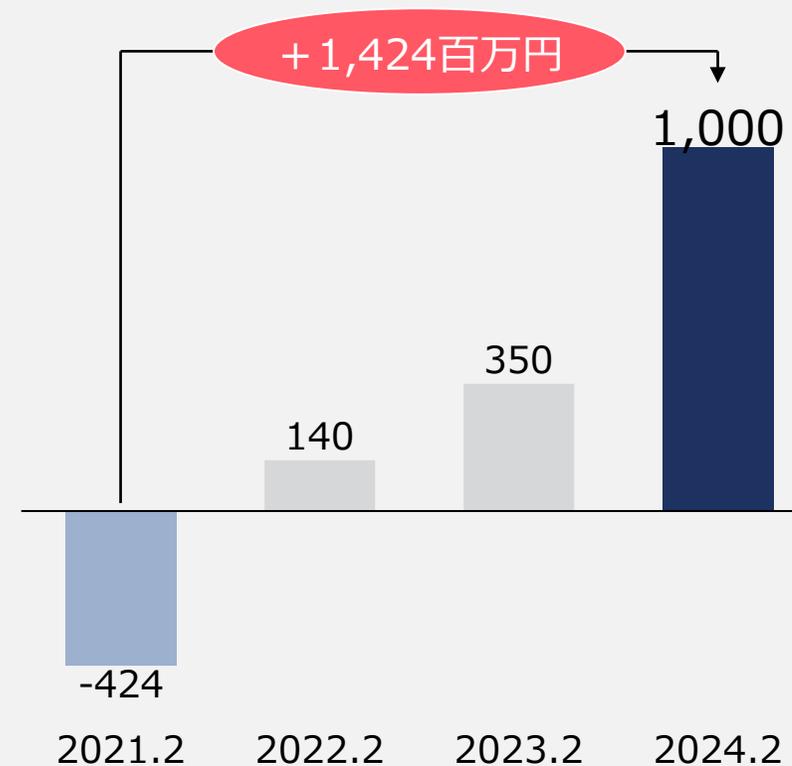
中期計画での目標骨子

1期（2022年2月期～2024年度2月期）までの売上とEBITDAを財務目標数字とする。
2024年度2月期では、売上70億円、EBITDA10億円を達成する。

売上推移 (単位：百万円)



EBITDA (単位：百万円)



デジタルリスク：今期リリースしたプロダクト

- 昨年度からの試験導入結果によるアップデートを行った、導入しやすい価格帯の新サービス
「モニタリオン」の無料トライアルを6/14に開始、飲食店など小規模事業者の顧客拡大を目指す

Powered by SRM-DB | デジタルリスク対策専門のマザーズ上場企業、エルテスが提供するSNSモニタリングAI

無料で始められる
SNSリスク対策

モニタリオンは、忙しいあなたに代わり、“勝手に” SNSをモニタリングするAIです。

最大3ヶ月完全無料トライアル提供中 /

今すぐ無料でお試し!

◆ 概要

SNS炎上リスク対策に特化した月額制サービス

◆ 機能

- AIによるSNS(Twitter)のリスク投稿監視
- キーワード設定だけで自動監視・レポート

◆ ターゲット層

小規模事業者

◆ 価格

- フリープラン・・・0円(投稿確認10件/日)
- 有料プラン・・・30,000円(投稿確認無制限)

クラウド設定ミス診断

◆ 概要

クラウドサービスの設定診断及びセキュリティ観点からのチェック

◆ 機能

- ・クラウドサービスの設定診断
- ・管理体制のアセスメント
- ・運用状況の監視支援

◆ ターゲット層

大企業から中小企業

デジタルガバメント向けセキュリティソリューション

◆ 概要

自治体間におけるデータ連携時におけるデジタルセキュリティサービス

◆ 機能

- ・セキュリティアセスメント
- ・システム強化施策の立案・実行
- ・内部脅威検知システム

◆ ターゲット層

地方自治体、行政機関

デジタルリスク：今期リリースしたプロダクト

- ・ 損保ジャパン社、SOMPOリスクマネジメント社との連携により、ハイブリッド型の新たな風評リスク対応費用保険の販売を開始。



◆ 概要

SNS炎上リスク対策に有事の保険を付帯したハイブリッド型保険

◆ 機能

- ・ 平時のAIによるネット監視
- ・ 有事の対策費用保証と対応サポート

◆ ターゲット層

大企業から中小企業

なりすましアカウント対策パッケージ

◆ 概要

なりすましアカウントによる被害を防止

◆ 機能

- ・なりすましアカウントの発信、やり取りに関する動向の監視
- ・事後対応のためのワークフロー策定等のコンサルティング

◆ ターゲット層

大企業から中小企業

データ分析支援システムエンジニアリング

◆ 概要

企業のデータ分析を支援

◆ 機能

- ・分析設計、データ収集・加工などデータ分析に必要なノウハウを提供

◆ ターゲット層

大企業から中小企業、地方自治体、行政機関など

デジタルリスク：今期リリースしたプロダクト

各種領域のニーズ獲得をアライアンス戦略により加速化。

特に、タレントSNSチェックサービスは提供直後から、高い反響を獲得。

* 具体的な取組み内容、アライアンス先は適宜、プレスリリース等で報告予定

反響高

タレント・有名人の
SNSリスクチェック
サービス



広告代理店・
芸能事務所等

EC企業向け
不正対策
ソリューション



大手ECプラット
フォーム・
EC支援企業

風評リスク対策
サービス



 損保ジャパン
SOMPO Innovation for Wellbeing

内部危機管理対策
サービス



金融機関・
会計法律事務所・
リスクコンサル
ファーム

AIセキュリティ：今期リリースしたプロダクト

- 警備のマッチングプラットフォーム「**AIK order(オーダー)**」をリリース。
警備業者、依頼者ともに登録数を積み重ね、マッチング件数を拡大していく。



◆ 概要

警備を依頼したいユーザーがオンラインで簡単に警備会社に仕事を依頼できるシステム

◆ 機能

- ・チャット機能
- ・WEB上での契約締結機能

◆ ターゲット層

- ・警備会社
- ・警備を依頼したい個人及び企業

◆ 価格

- ・案件成約価格に対する一定の手数料

AIセキュリティ：今期リリースしたプロダクト

- スマートフォンを活用し、工事不要・リーズナブルな価格で中小企業や小規模店舗の警備が可能な「AIK sense(センス)」をリリース。



◆ 概要

月額経費が高額になる機械警備をスマートフォンを活用して、より安価な価格で提供

◆ 機能

- 窓や戸に取り付ける検知デバイスと連携するスマホアプリの提供
- 異常発生時に警備員が急行するシステム

◆ ターゲット層

- 中小企業・小規模店舗

◆ 価格

- ・ 4,980円～

DX推進事業：今期の取組み

- 12地方公共団体の「スーパーシティ構想」にて主要な事業者の候補者に選定

スーパーシティ構想を持つ12の地方公共団体

- 岩手県矢巾町
- 大阪府河内長野市
- 香川県高松市
- 神奈川県鎌倉市
- 熊本県人吉市
- 群馬県前橋市
- 京都府けいはんな学研都市
- 長野県茅野市
- 兵庫県養父市
- 宮崎県延岡市
- 山口県山口市
- 和歌山県すさみ町

(五十音順)

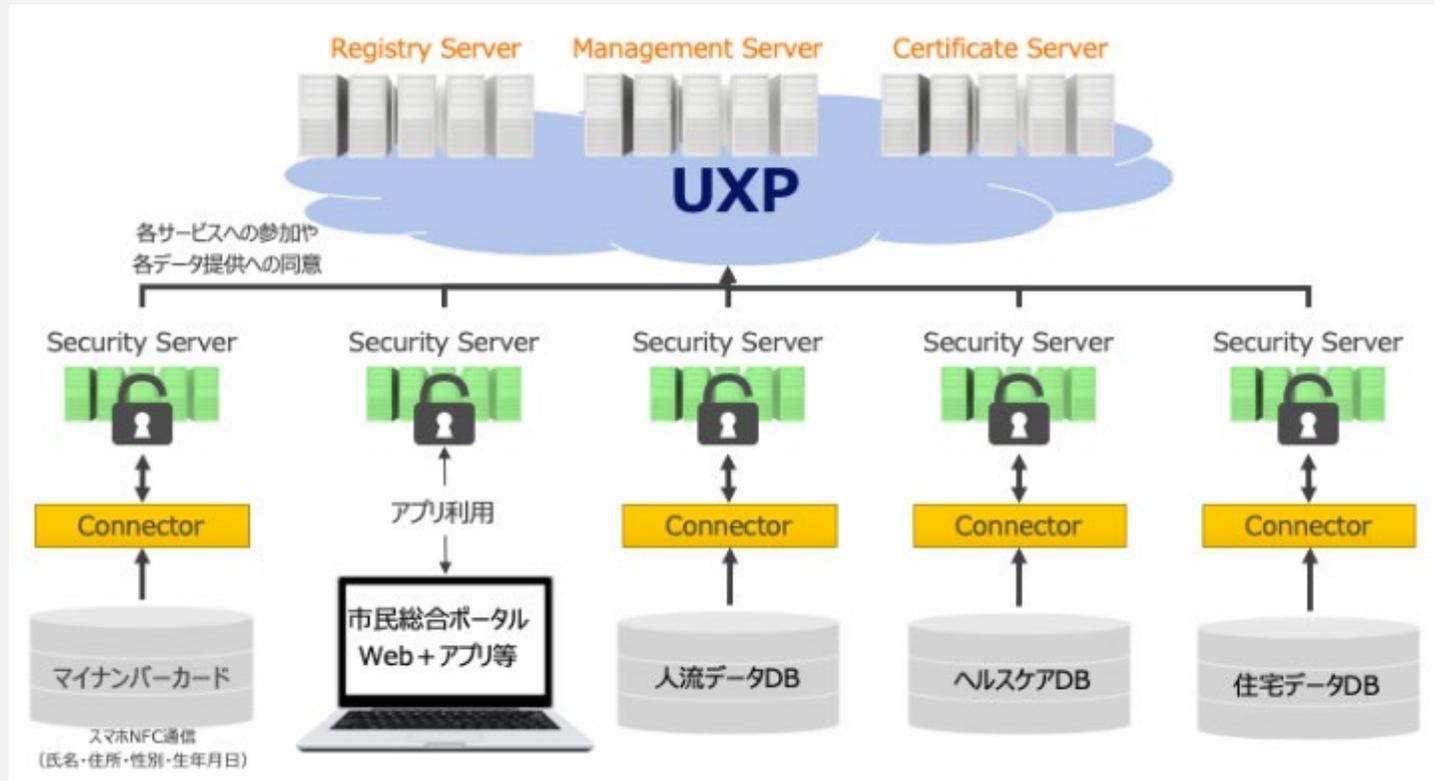
エルテスが提供するソリューション

- 1 官民連携による市民総合ポータル提供**
 - データ連携基盤（都市OS）とデジタルPFI構想を実現（次頁参照）
- 2 行政のデジタル化を推進**
 - 最先端のデータ連携技術「UXP」を活用した都市OSを活用（次頁参照）
- 3 企業版ふるさと納税（人材派遣型）によるDX人材育成・活性化**

※自治体によって提供予定のソリューションは異なります。

DX推進事業：今期の取組み

- デジタル・ガバメント先進国**エストニアのサイバネティカ社のデータ連携技術「UXP」**の実用化に向けて、大手企業との取組みも開始



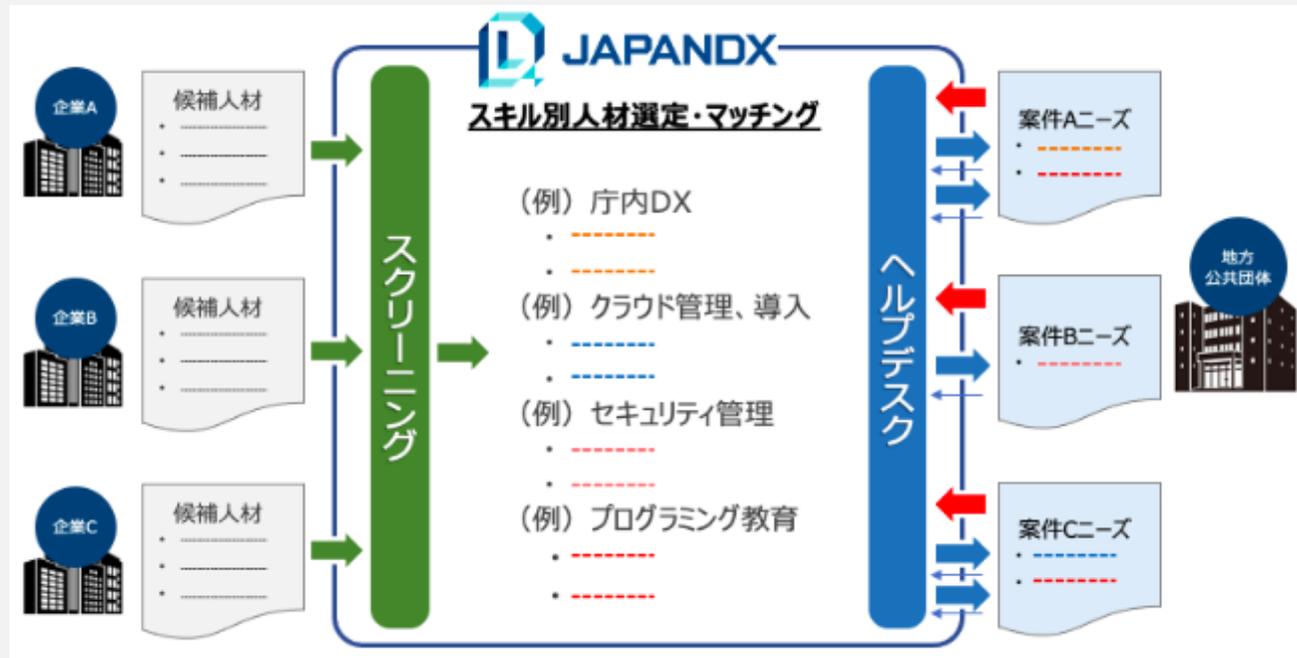
UXPとは？

行政サービスの99%をデジタル化した**エストニアの電子政府基盤システム「X-Road」**を発展させて開発した**データ連携技術**。

当社とサイバネティカ社との連携により日本への導入が可能に

DX推進事業：今期の取組み

- 企業向け・自治体向けDX推進人材の育成に関して、ドコモ・システムズとパートナー契約を締結し共同で推進



DXの専門知識を有する民間企業人材を「デジタル活用支援員」として自治体へ派遣。

デジタル領域に長けた優秀な人材を派遣することで地方公共団体のDXへの取組みを活性化

DX推進事業：今期の取組み

「京都府スマートけいはんな実証促進事業」において、**監視カメラとAIを活用した観光地の見守りソリューション（スマート警備）を提案**し、実証実験の対象事業者として採択



■ 地方自治体向け冠水検知サービス

【冠水検知サービスの概要】



- ・冠水状況をドラレコなどでリアルタイムに把握（pegara社との連携）
- ・エルテスの自治体・行政機関とのネットワークにより早期に社会実装を目指す

免責事項

- 本書には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により、実際の業績が本書の記載と異なる可能性があります。
- 別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。
- 本書は、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買付けの申込みの勧誘（以下「勧誘行為」という。）を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。

【お問合せ先】
株式会社エルテス IR担当 : ir@eltes.co.jp